一般質問

おがわ学



田中照子（たなかてるこ）議員が町に問う！

現在の取組状況は

答弁 発達段階に応じ系統的に進めています

Q 地域を愛し、地域で生きていこうとする態度の育成に「おがわ学」は大切である。取組状況は。

A **学校教育課長**　現在、テキストを基本教材として活用し、教育課程に位置づけながら、発達段階に応じて系統的な学習を進めています。今後も、学習内容の充実改善を図り、地域への愛着を深め、未来を担う人材の育成につながるよう、取組を推進します。

Q 当町は郷土学習の先進地域である。発表の機会があれば手を挙げてほしいが。

A **教育長ほか**　「おがわ学」に取り組む当町は郷土学習における先進地域の一つです。他の自治体から取組を聞かせてほしいとの依頼もあります。内容や趣旨を踏まえ適切に対応します。

和紙体験学習センター

Q 登録有形文化財への方向性は。

A **町長ほか**　和紙職人、産業に関わる方、歴史的建造物保存や活用に関しての専門家に意見を求め、産業施設としての整備活用を基軸に、再整備基本計画を策定します。その中で登録への申請を検討していきます。



老朽化が進む和紙体験学習センター

文化財保護



島﨑隆夫（しまざきたかお）議員が町に問う！

新たな文化財の指定は

答弁 調査等が済んでいない候補は5件あります

Q 新たな文化財の指定と解除は。

A **生涯学習課長**　町史編さん事業時のリストに掲載され、文化財保護委員会の調査・検討・協議が済んでいない候補は5件あります。また、所有者の管理や保護措置による指定解除を検討している事例はありません。

Q デジタルアーカイブ📖の状況は。

A **生涯学習課長**　町史編さん事業や文化財業務で収集した写真フィルムの5%をデジタル化しています。また、古文書や行政文書を撮影したマイクロフィルムは、全体の2%となっています。

Q 文化財所有者への予算確保は。

A **生涯学習課長**　指定文化財の修繕に多額の経費を要する場合は、予算の範囲内で補助金を交付しています。また、天然記念物や史跡内の倒木等の緊急時には、補正予算で対応しています。

Q 町民や事業者から寄附などの協力は得られないか。

A **生涯学習課長**　企業版ふるさと納税や民間財団の助成事業など、財源確保の手法を研究します。

●その他の質問
・自然環境の維持と里山整備を
・サウンディング調査で活性化を



町から補助を受けて剪定した八和田神社の大杉

📖 デジタルアーカイブ…歴史的資料、美術品や地域の文化財などをデジタル形式で保存し、データベースとして管理・公開すること。

赤とんぼ舞う中の最後の草刈り。秋が短くなっても、変わらぬ季節の便りです。（K・Tさん　57歳）

シリーズ

16人の一歩!! 進み続ける議会 Vol.13

先の部分答申（常任委員会は現行の3から2に再編。円滑な移行・運営に向けた対応を図ること）に伴い、来る14人議会及び「2常任委員会制」を見据えた取組がスタート。また、今年度から本格稼働した「広聴活動」も、次回の開催が決定しました。

2常任委員会制への試行
総務・経済建設で「連合審査会」を実施！

令和7年度一般会計の決算における常任委員会審査を一部、合同で実践しました。総務及び経済建設常任委員会では、定員に2人追加し、7～8人体制でしっかりとチェック。委員会の開催時間なども含めて、モニタリングしました。

※その他の諮問項目については8月6日に答申。



来期の「14人議会」に向けた取組が進む

11月15日に開催決定　若者が考える
「住みたいと思える小川町」とは？

第2回地区懇談会の主役は、若者です。当町をフィールドに活躍する商工会青年部をはじめ、若者未来会議・地域おこし協力隊・成人式実行委員会から、総勢20人の皆さんが参加予定。町の未来を一緒に語ります。



盛会だった第1回地区懇談会。次回も乞うご期待！

3常任委員会の調査研究
カラーが映える「実践的な活動」を展開！

任期最終・集大成となる各委員会の研究テーマが決定しました。今後、先進地視察や各種勉強会・フィールドワークを経て、行政課題の解決に委員会の立場からアプローチ。住民サービスの向上に向けて、専門性を生かした取組が始動します。

総務常任委員会

テーマ
人口減少に負けない「人材戦略」について

目的　町職員及び地域の担い手の確保・育成・活用等による持続可能なまちづくりに資するため

経済建設常任委員会

テーマ
持続可能な行政サービスを提供するための都市整備の在り方について

目的　人口減が進む中、全ての世代が住みやすいまちづくりに資するため

厚生文教常任委員会

テーマ
高齢者のウェルビーイングを大切にした共生地域の実現について

目的　高齢者がいきいきと活動し、支え合う地域づくりに資するため

次ページは「わたしのまんなか」ほか